

J A I R O 2 0 2 0

失敗しない創業とは？

創業塾2020(録画用テキスト) 第1回

- 失敗しない起業のルール
- 経営者の心構えとは？ ほか

Presented by ジャイロ総合コンサルティング株式会社

創業塾2020オリエンテーション

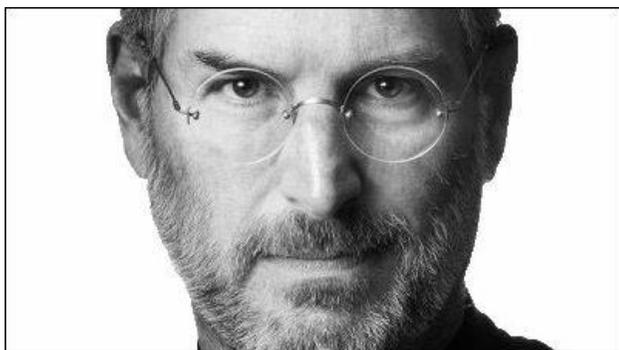
全ての企業は創業から始まった。

世界企業のアップルはスティーブ・ジョブズとスティーブ・ウォズニアックの二人が自宅のガレージで創業することから始まり、楽天は三木谷夫妻が共に脱サラから立上げ、10年足らずでプロ球団のオーナーにまで上り詰めている。

眩いばかりの企業家としての声望を得た彼等の背後には、3年を経ずして夢ついていた多くの創業家が見え隠れする。

実際に創業後1年以内に倒産する割合は30~40%、3年以内には70%が廃業に追い込まれている。

成功と失敗の違いはどこに生じるのか。失敗の要因を除去し、成功の要因を掴みとることができれば、創業そして成功の未来は確実に見えてくる。



アップルの創業者スティーブ・ジョブズ氏

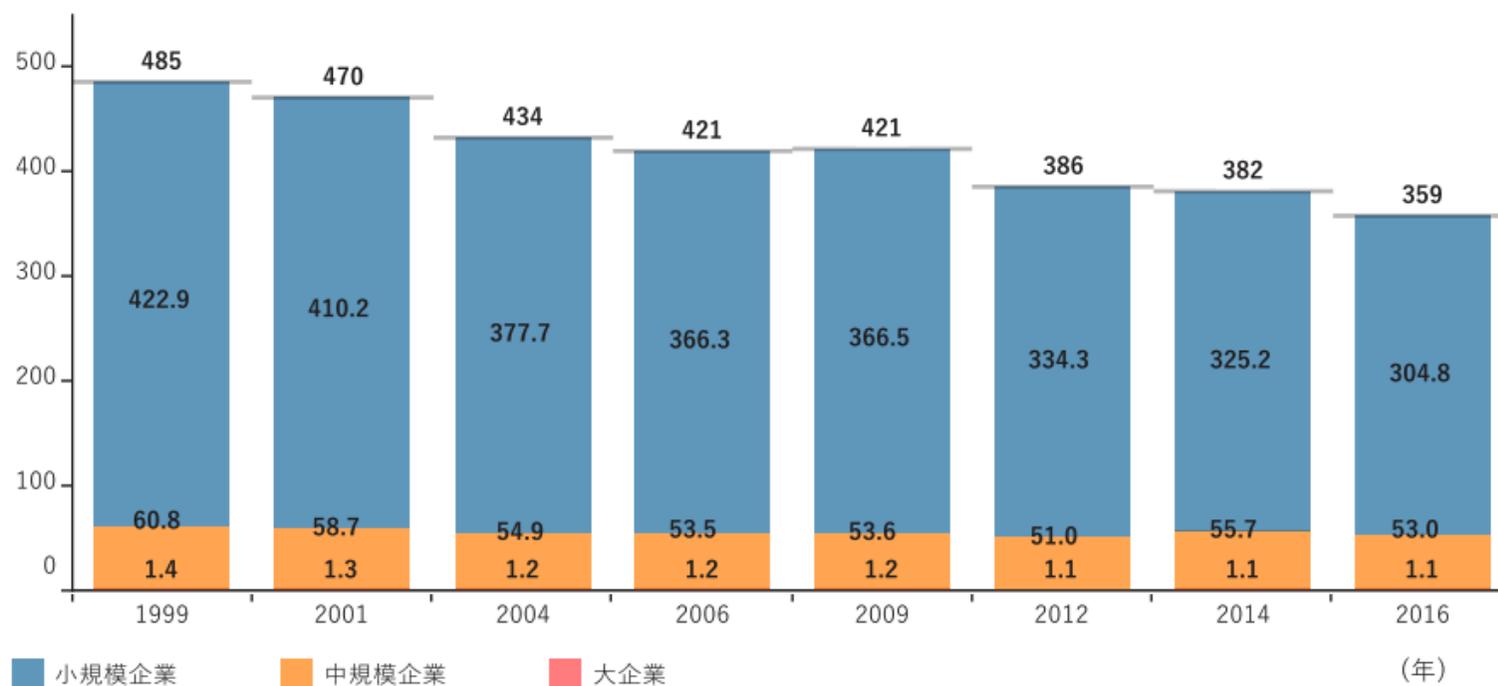
失敗しない起業のルール①

中小企業・小規模事業者の推移

出典：2020年 中小企業白書

企業規模別企業数の推移

(万者)



- 年々減少傾向にあり、直近の2016年では359万者となっている。このうち、中小企業は358万者であり、その内訳は小規模企業が305万者、中規模企業が53万者となっている(第1-3-1図)。また、1999年を基準として規模別に増減率を見ると、いずれの規模においても企業数が減少しており、特に小規模企業の減少率が最も高くなっている

失敗しない起業のルール②

時代を読む

	今まで (過去20年)	現在 (前後5年)	これから (今後10年)
景気	•バブルが崩壊した後の長期不況・景気低迷が継続	•一部大企業で業績向上 •中小企業は不況が定常化	•人口減少による経済縮小 •内需より外需へ向かう
社会動向	•非正規従業員などの格差社会の進展	•環境や社会性を重視 •少子高齢者社会の現実化 •働き方改革の進展	•多様性の社会 •集中と分散 •2025年の崖
消費トレンド	•モノ志向よりコト志向 •団塊ジュニア	•節約志向 •流行よりノスタルジー •健康志向	•「買換え」より「買足し」へ •地元とのつながり重視
ビジネス形態のトレンド	•百貨店より専門店 •ブランドショップ •モノよりサービスへ	•プラットフォーム型ビジネス •ネット活用（ネット通販等） •コミュニティ型ビジネス	•スマート化（IoT、ロボット、RPA） •シェアビジネス（所有から利用） •サブスクリプション・モデル

先を読み、先取りするための行動

- 情報の引き出しを多くする
- 「発見→試行→修正」のサイクルを繰り返す
- 図・チャートなどを使って全体像を見る
- 「こだわり」を持つ
- 新しいことを恐れないマインドを持つ

失敗しない起業のルール③

時代が変わろうとする今、創業の最適期かも知れない

- 不況期には企業ランキングが大きく入れ替わる。
- 社会・技術・経済環境に変化生じたときに、創業へのブレークスルーが発生する。
 - ・ 従来の経営資源価値を一変させた「ネット（Web）＋ネット（物流）」
- 不安定期こそチャンスが出てくる。
 - ・ デフレからインフレへの移行期かも知れない。
 - ・ 空き店舗活用に活路
（空き店舗になった理由を確認すれば、打つ手がある）

平成元年			平成30年	
順位	社名	時価総額(億円)	社名	時価総額(億円)
1	NTT	254,280	トヨタ自動車	219,758
2	日本興業銀行	125,332	NTTドコモ	94,368
3	住友銀行	108,012	ソフトバンクグループ	94,183
4	第一勧業銀行	99,759	三菱UFJFG	93,129
5	富士銀行	99,753	NTT	87,690
6	三菱銀行	88,224	ソニー	77,537
7	トヨタ自動車	81,599	キーエンス	75,516
8	東京電力	79,173	ファーストリテイリング	64,122
9	三和銀行	78,173	三井住友FG	62,105
10	野村証券	64,789	KDDI	61,857
11	新日本製鉄	54,885	日本郵政	60,255
12	松下電器産業	51,329	ゆうちょ銀行	59,220
13	日立製作所	51,001	ホンダ	58,491
14	日本長期信用銀行	48,591	JT	56,020
15	東海銀行	45,894	リクルートHG	51,150
16	三井銀行	45,578	任天堂	50,987
17	関西電力	45,280	三菱商事	49,467
18	東芝	42,559	みずほFG	49,134
19	三菱信託銀行	40,390	東海旅客鉄道	44,156
20	三菱重工業	39,948	日産自動車	43,093
	上位20社合計	1,544,549	上位20社合計	1,452,238

経営者の心構えとは①

● 人生を豊かにする。

- ・ 起業の目的とは貴方の人生を豊かにすることだと考える。
すなわち、自らの幸せのために創業するのです。
だからこそ、自己責任が問われることを忘れずに。
- ・ 仕事による儲けを通じて人生を楽しむのか、それとも仕事自体を楽しむのか
どちらでも良い。
いずれにしても覚悟と計算が必要なことは間違いない。
- ・ あなたは自らの創業目的が明確でしょうか。

● 自己実現としての起業

- ・ 夢は叶えるためにある。
- ・ 成功者を真似しても成功は手に出来ない。その成功者が行った事ではなく、その考え方を学ぶことで自分自身の独自ビジネスを創造することが可能になる。それこそが自己実現に他ならない。

● 自らの中に見る消費者ニーズに応じて起業する。

- ・ 自分の感じる不便は大半の人が感じている。自分の不をビジネス化、
- ・ 新たなトレンドやテクノロジーを活用することが不便解消のポイントになるかも知れない。
- ・ 敵を知り己を知れば百戦危うからず（孫子の兵法）

経営者の心構えとは②

- 貴方が起業し成功すること自体が大きな社会貢献になる。
- 「事業は世のため、人のため」になることが持続的な成功の秘訣
- 今の時代は小さいこと（小資金等の条件）は決して不利な条件とは言えない。
（肝心なことは投資方向を見誤らないこと）例えば、こんなケースも

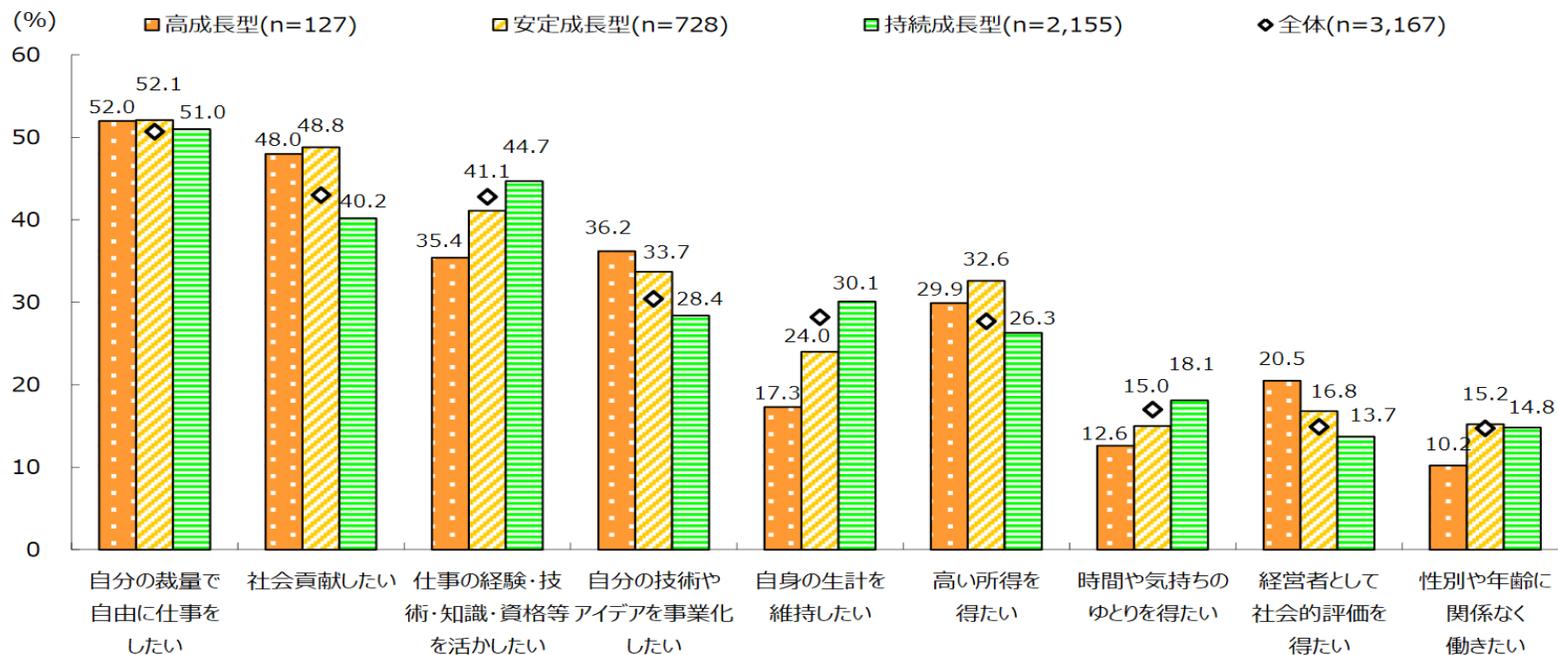
- 経営者の重要な資質とは
 - ・ 先見性
 - ・ 洞察力
 - ・ 決断力
 - ・ リーダーシップ
 - ・ 親和性

	Aさん	Bさん
改装費	1,000万円	700万円
広告宣伝		100万円
旅行		50万円
コンサルフィ		50万円
予備費		100万円
合計	1,000万円	1,000万円

経営者の心構えとは③

あなたが創業を目指す意義、目的、意味を考えてください。(複数可)

-
-
-
-

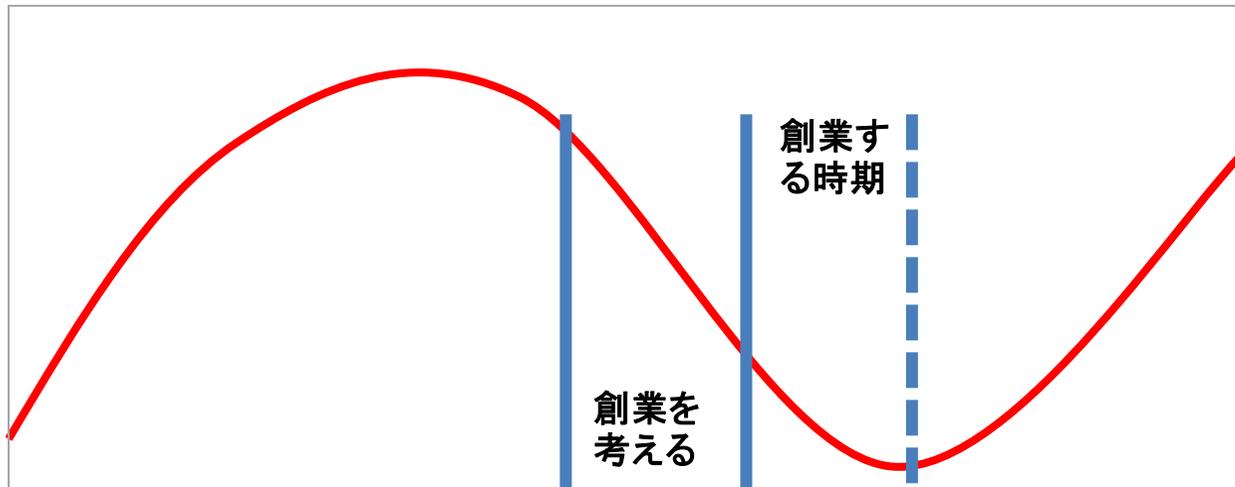


起業の理由

出典：2017年 中小企業白書

創業の成功要因①

- 失敗しないことが成功の条件。ライフスタイルに合っているか否か
 - 成功要因の中にはかなりのウェイトで運があり不可解な事も少なくない。一方、失敗の原因は合理的に把握できる
 - 失敗とは継続不能の事であり、継続している中で成功のチャンスが訪れると考えたい
※創業の時期の心理状態の多くは現状否定期
 - 初期の低迷期(3年、最短でも1年)を繰り込んだ計画想定



創業の成功要因②

- 悲観的予測と悲観的計画、そして楽観的实施が失敗を防止する。
 - ・ 予想通りには運ばないかも知れない。その場合はどうするのかを計画に織り込む。
(コンテンジェンシープランを考える)
 - ・ 創業初期の低迷期の過ごし方
起業後3年以内に廃業する割合は50%、10年以内には70%という現実、3年を経過すれば生存率は上昇するともいえる。
- 失敗を乗り越えれば、成長の一過程と捉えられる。しかし、それを諦めれば敗退（廃業）に繋がることになり、何も残らない。
 - ・ 何のために創業するのかを明確にすべき。
 - ・ その事業から生み出される価値に必要性を感じる人はどの程度いるのか。
- 失敗しない環境を整備する
 - ・ 1人の味方（身内）をつくる。
 - ・ 複数の仲間（友人）をつくる。
 - ・ 相談できる第三者（専門家・専門機関）を持つ。

創業に伴うリスクに向き合う

創業前後のリスクとは、

- 資金面（お金が不足）
- 運営面（人材、販路など）に大別される。
- 特に、借入金は廃業しても残る。

開業費用

出典：2016年新規開業実態調査（日本政策金融公庫）

